

# 東海大学理学部

## 数学科同窓会会報

### 第八号

#### 【巻頭言】

理学部数学科主任 前田 陽一

昨日（9月20日）から秋セメスターの授業がスタートしました。卒業生の方々には、「えっ、そんなに早かったっけ？」とお感じの方もいらっしゃるかもしれませんね。私が東海大学に着任した十余年前から比べますと、授業が3週間分増えました。教育の質、量ともに充実するよう、教員一同頑張っています。学生も7月いっぱい、暑期中頑張っています。

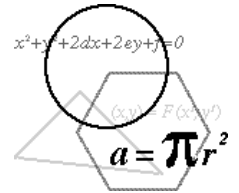
子供の通学に合わせて平塚市に転居してからはや3年。今年から自転車で通勤するようになりました。金目川の川沿いを季節の移ろいを感じながら走るの、健康にいいし、いい気分転換にもなります。ここ2、3日は、曼珠沙華の花が散見されるようになりました。帰りは、頭の中でめずらしくドビッシーの「月の光」が流れます。水面は金色に輝き、見上げれば中秋の名月。ああ、美しい。ただ、あんまり景色に見とれていると、ガタガタのサイクリングロードですので、結構危ないです。ぼかんと口を開けていると、虫も入ってきます。

今年世界遺産に登録されたといえ、なんととっても富士山ですね。三保の松原も入って、東海大学としてもとても喜ばしいことでした。朝の通勤で、毎朝拝んでおります。富士山を借景にして手前に見える、東海大学の1号館のシ



ンボルタワー、12号館とともに最近目立ってきたのが、18号館の建築工事です。春から夏にかけては、クレーンしか見えなかったのですが、今や遠くからでもその姿を見ることができます。8階建ての理学部新棟です。数学科のフロアは、最上階の8階。エレベータを降りると全面ガラス張り、フロアが隅から隅まで丸見えなのだそう。研究室でちょっとウトウト、、、なんていうのも丸見えです。

ユニバーサルプレート、コミュニケーションスペース、というのは、それぞれ、学生が自由に勉強や議論ができる場所、図書館のように静かに落ち着いて勉強する場所で、フロアの真ん中にあります。蓋を開けてみなければ分かりませんが、とにかく学生に入り浸ってもらって、勉学に励んでほしい。各教員に一つずつ専属のゼミ室もあります。建学祭の折には、ぜひ見学に来て下さい。最終日の花火を見るには、おそらくベストポジションです。



無限の会のことをご存じでしょうか？東海大学の卒業生で、教職に就かれた方々で組織されている会です。昨年からは数学科出身の植田敬久先生が会長に就任されました。今年から、教職希望の学生の就職を支援したいということで、3、4年生を対象に教職セミナーを行っています。昨今の教員採用を取り巻く環境は厳しく、学生も苦勞しています。先輩方からの直接のアドバイス、励ましは何にも代え難いがたいものです。諸先輩方の力を借りて、一人でも多くの優秀な人材を教員として社会に送り出したいと思えます。今後とも、よろしくお願いたします。

なお、教職に限らず、就職に関する情報がございましたら、maeda@tokai-u.jpまで、お知らせください。無限の会への入会も承ります。

#### 【学生時代の思い出】

1970年度卒 皆川 憲一

数学科の同窓会に出席したことは、これまでに一度もありませんでした。ただ、5～6年前の建学祭に、学生時代の旧友数名と再会し、当時を大変懐かしく思い出、語り合ったものでした。私は、団塊の世代でして、卒業後は数学とは全く違う世界の警察職員として奉職し無事に定年退職しました。

学生時代は、特にこれと言った強烈な経験ありませんでしたが、一つだけ、思い出すのが、4年生の時のゼミのことです。確か、院生を含めて6人位で、恩師は近藤先生でした。週に一回のゼミでしたが、先生から原書でやると言われ、英語もろくに読めないのに、その一年間は、辞書と首っ引きで、原書が真っ黒になるほど取り組んだものでした。後にも先にも、私の人生の中で、一番勉強した頃と思うのです。

卒業間近に、新宿の中華飯店で先生を囲んで慰労会をしたのが、本当に楽しかったと、今も記憶の片隅に残っております。

その後、学生時代の級友とは、少々疎遠になっておりましたが、定年をそれぞれが迎えたことにより、再会の機会も増え、音信を絶やさぬようになってはいます。許せることならば、もう一度学生時代に戻ってみたいと考えるこの頃であります。

## 【思い出】

1970 年度卒 田村 聖一

1966 年 4 月に東海大学理学部数学科応用数学専攻に入学し、1971 年 3 月に卒業した田村聖一です。東海大学卒業後は 1971 年 4 月 1 日より (株) 日立製作所に勤務し、55 歳で (株) 日立製作所を早期退職して独立し、フリーランスとして 64 歳の今でも元気に仕事をしています。

64 歳になり改めて大学時代を振り返ってみますと、勉強はほどほどに(???)、麻雀に、ビリヤードに、テニスに、ソフトボールに、キャンプや登山に、旅行に、クラスの仲間と熱中して遊んできたおかげで、中身の濃い学生生活を送っていたようです。良く遊んだご褒美でしょうか、卒業時に総長賞まで頂いてしまいました。

大学 2 年の夏休みには、1 ヶ月かけて、東京⇒バンコック⇒カラチ⇒アテネ⇒ローマ⇒ベニス⇒インスブルック⇒チューリッヒ⇒パリ⇒ロンドン⇒ハンブルグ⇒ベルリン⇒コペンハーゲン⇒ヘルシンキ⇒モスクワ⇒東京、と旅行しました。

初めての海外旅行、初めて乗った飛行機、英会話にも大きな不安を抱える中での旅行ではありましたが、それまで日本しか知らなかった私が初めて日本を飛び出して世界を見て回ってきたことが、その後の人生で大いに役に立ったと思っています。この旅行ではベルリン滞在中に「チェコの動乱」と言う大きな事件が起こり、一時、分けもわからずベルリンを出れなくなるという恐ろしい経験もしました。また、ロンドンでは、8 月だというのに朝晩には暖炉に火が入り、昼間でもコートを着ており、実際の季節感なども体感しました。

大学 3 年の夏休みには、クラスの仲間と一緒に上高地でテントを張り、初めてのキャンプに取り組みました。雨露を避け、電気やガスの無い状態で朝昼晩の食事を作り、後片付けして、ささやかな明かりの中で夜を過ごし、自然の中での生活は良い経験でした。一昨年(2011)年の東日本大震災以降、防災が叫ばれている中で、「家がつぶれても、いざとな



たら何とかなるのでは？」と言う根拠の薄い自信に繋がっています。ちょっと危険な自信ですね。また、大学 3



年の秋には、全学ソフトボール大会の決勝で日本文学科代表と対戦して優勝しました。

これは、数学科の一人ひとりが、それぞれの特徴を生かして、一生懸命戦った結果、得ることが出来た成果でした。「チームで力を合わせればかなりのことができるんだ」と言う成功体験でもあり、会社に入ってから、数々の企業内プロジェクトを担当しましたが、どうしたらチームで力を合わせて 100%以上の力を発揮できるか、考える基本にもなっています。

ちなみに、試合ではあまり貢献していなかった私がたまたま「代表」と言うことでトロフィーを頂き、美味しい思いをしたことも覚えています。(笑)

中学のときに軟式テニスを始め、高校に入ってから硬式テニスに転向し、大学に入ってから、会社に入ってから、どんなに忙しくてもテニスだけは続けてきました。大学卒業以降、私の体型は増減を繰り返してきましたが、テニスを続けてきたおかげで現在は+5kg 程度で収まっています。



現在は神奈川県二宮町に住み、大磯のテニスコートを拠点に、真夏も真冬も春も秋も、週に 3 回のテニスを楽しんでいます。55 歳で会社を早期退職して独立した成果でしょうか、仕事のスケジュール

も、テニスのスケジュールも、遊びのスケジュールも、孫の相手をするスケジュールも、全て自分で決めています。

こうして振り返ってみると、学生生活の 4 年間は短くはありましたが、勉強も遊びも自由にできる特別な期間だったと思えます。学生時代を充実して過ごせば、その結果は後の長い人生に繋がっていくのですね。学生時代、社会人時代、フリーランス時代、と生きてきた私は、残りの人生も引き続き楽しみ続けたいと思っています。

## 【学生時代の思い出と近況報告】

昭和46年卒 鴨 脩平

昭和42年に基礎数学専攻へ入学しました。

担任は根本精司先生で、温厚で親しみ易く、先生のお人柄から先生を慕う学生が多く、私もその一人でした。

教師志望でしたので、内気で消極的な性格を変えたく、色々経験し自信をつけ教職に生かしたいと考え、代議員を引き受け、数学科の親睦を図るため、各学年から選出された代議員と共に活動しました。

新入生歓迎会、建学祭、数学科名簿作成等々数学科行事の運営にあたっていました。その結果、クラスの友人のみならず、学年を超えて素晴らしい仲間とお付き合いさせていただき、また貴重な体験をさせていただき、ありがたく感謝しております。

当時は学園紛争の真っただ中で、本学もその影響を受け、フェンスで広大な敷地を囲うことになってしまい残念でした。

卒業後は、先生方のお力添えにより、静岡の東海大学第一高等学校に勤務することになり、念願の教職に就くことができました。1年生の担任、山岳部顧問、硬式野球部合宿舎舎監と最初から責任ある仕事を任せられ、苦しみながらも務めることができました。その後、神奈川県に移り座間市立西中学校、県立綾瀬西高校、大和西高校、相原高校と勤務し相原高校で定年を迎えました。

若い時は、野球部の顧問で野球の熱にうなされ、高校に異動してからは教科研究会数学会に所属し、研究熱心な先生方のご指導を受け、数年後本部役員として職場との二足の草鞋を履きながら務めることができました。

定年後も再任用で県立高校、その後私立高校に勤務し、現在は神奈川工科大学に勤務しています。

現在も健康で働けるのは、東海大学でお世話になった事に起因しております。素晴らしい先生方、友人達に心より感謝いたします。

## 【同窓会報に寄せて】

年金生活者 島宗 善英

私は大学で目立つ方で無く、成績もよくなかったのですが、どうして原稿依頼がきたのかと驚いています。69年度卒業ですから40年以上も前のことですので、数学科のこと生活のことが断片的にしか思い出せません。それも記憶違いがあるかもしれません。

理学部数学科は基礎数学専攻と応用数学専攻の2コースに分かれていました。しかし、1、2年生の数学の授業はいつも一緒に80人位での授業でした。授業は講義中心で質問や演習が少なかったと思います。1回の授業で数ページもノートを取ることがありました。家に帰ってからノートを整理するのが大変でした。ぼんやり授業を受けていると次の授業についていけなくなります。ですから真剣に

授業を受けている学生がほとんどでした。稲垣先生や川尻先生の授業が印象に残っています。また、3年で単位を多く取得すれば、4年の授業は少なく済むとの先輩の話で、3年の時できるだけ多くの選択授業を受けました。

2号館で何百人もの学生が一斉に授業を受けていました。それはアイトホールを使っての一般教養の授業でした。その授業は創立者松前総長の現代文明論の中の「建学の精神」(若き日に汝の思想を培えなど)は今までの自分をふりかえらせ、今後の自分の生き方を考えさせるもので「生き方指導」そのものでした。

月日が経つにつれ、数学科以外の友人も増えました。社会勉強のつもりでアルバイトもしました。そのころから不規則な生活が始まり、3度の食事が2度になりました。そのうち数学の勉強とそれ以外のこととの両立が難しくなってきました。

卒業後は教職に就きました。新卒の頃、授業で生徒が理解できないのは生徒が悪いのではなく、私の教科に対する深い専門知識の不足を感じ、大学でもう1度勉強をし直そうかとも考えました。大学生の時もっと数学を研究しておけばよかったと後悔しています。

数学科同窓会がますます充実されますよう祈念しています。



## 【同窓会の活動状況】

今年度は3月25日の学位授与式で同窓会賞を2012年度：笹岡蘭平さん、高野翔子さんの2名に授与しました。当日は卒業パーティが厚木の「フォーラム246」で開催され、山田同窓会長も出席し懇親を深めました。

例年、11月3日の大学の同窓会ホームカミングデーに合わせて数学科同窓会も総会を開催しています。先生方との交流を行い先輩、後輩が集い、話に花を咲かせています。お気軽に参加してください。お待ちしております。会報の送付を行っていますが、周りで届いていない人がいましたら事務局までご連絡ください。

東海大学理学部数学科では卒業生が主任教授に就任されるなど、新しい風が吹き始めています。OB、OGとして学生支援に役立てるよう協力して行こうではありませんか。

同窓会として協力できることは実施していきたいと思っておりますので、お力添えのほどよろしく願いいたします。

数学科同窓会の会員数は  
2013年4月現在：4034名です。



【事務局便り】

数学科同窓会の会報は卒業生や先生方からのメッセージや大学の現況、さらに懐かしい先生からの思い出など、同窓生にとって有意義な情報発信ができればと思っています。800文字+写真など原稿をお届けください。次号に掲載させていただきます。また、興味のある企画などありましたら積極的にお願いします。

卒業生の寄稿も歓迎です。また、一言メッセージを随時募集しています。また広告の掲載も募集しています。掲載を希望される人は下の連絡先にお問い合わせください。数学科同窓会に関するお問い合わせも、下の連絡先までお寄せください。E-mail でお待ちしています。

連絡先

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1  
東海大学理学部数学科同窓会事務局  
事務局長：原田 三行 (70年度卒)  
e-mail : zharada@star.tokai-u.jp

同窓会の運営経費は会員皆様の会費によって維持されております。一口2000円(何口でも可)を次の郵便口座まで振り込んでいただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。なお、納入者については会報に掲載しご報告とさせていただきます。

口座番号：10200-25747091  
口座名：東海大学数学科同窓会

【同窓会費納入者名簿】敬称略

【2012年度】

曾根幹二、太田綾佳、山口 健、長谷川洸太、堀口昌洋、豊里理紗、安田浩三、薄井詩織、斎藤 稜、笹岡蘭平、斎藤隆良、安藤蓉亮、菅田貴志、黄金 暁、幸田彩花、中山翔太亮、田山 翔、吉川浩史、飯田祐太、中瀬智美、小林 涉、伊藤望貴、安孫子雄来、原田祐丞、梶山理夏、上田 葵、上原大峰、浅本 翔、佐藤大輔、藤本嗣馬、馬場俊行、鈴木田亮介、高野翔子、平井 涼、田中勇士、桐生貴光、宮原健太郎、河本真吾、高橋健太、岩崎拓也、黒木貴裕、吉井孝文、石井 望、花田拓也、池田 仁、山崎紀仁、長島元輝、黒田航平、餅越 光、武田瑞紀、山田実俊、宇井 萌、松山 大、金子 真、田口翔悟、福住彰啓、榎 菜津美、加藤智也、宗像昌平、佐野源太、八木圭太、菅沼亮介  
菅原敏彦、山崎則夫、塩塚修、斉藤一也、小山宗彦

【2013年度】

菅原敏彦、山崎則夫

ありがとうございました。

【訃報】

川尻 信夫 先生(名誉教授) 2013年5月30日 88歳  
同窓生の皆様と共にご冥福をお祈りいたします。

【2013年度理学部数学科教員名簿】

湘南校舎	主任 教授	マエダ ヨウイチ	前田 陽一
湘南校舎	教授	アカツ トヨヒロ	赤松 豊博
湘南校舎	教授	イトウ タツオ	伊藤 達夫
熊本校舎	教授	イマダ ツネサ	今田 恒久
清水校舎	教授	ウラベ マサツク	占部 正承
札幌校舎	教授	カトリ フミオ	加藤 文夫
湘南校舎	教授	キリキ シン	桐木 紳
湘南校舎	教授	タカ ミル	田中 實
札幌校舎	教授	チノ ウンゴウ	陳 蘊剛
湘南校舎	教授	トビイ マコト	土井 誠
清水校舎	教授	ナカムラ アキヒロ	中村 昭宏
阿蘇校舎	教授	ナラ ヒロユキ	奈良 知恵
湘南校舎	教授	フルヤ ヤスオ	古谷 康雄
清水校舎	教授	ホノ キヨシ	細野 潔
湘南校舎	教授	ヤマモト ヨシロウ	山本 義郎
湘南校舎	教授	ワタナベ ジュンゾウ	渡邊 純三
札幌校舎	准教授	サバウ バシレ リン	サバウ バシレ ソリン
湘南校舎	准教授	シマ アキコ	志摩 亜希子
清水校舎	准教授	マツダ カツミ	松田 克己
高輪校舎	講師	キダ ケンシ	貴田 研司
湘南校舎	講師	ササキ アツム	笹木 集夢
湘南校舎	講師	ツキカ トオル	月岡 透
湘南校舎	講師	ツジ タカエ	都地 崇恵
湘南校舎	講師	カガイ ヒデトモ	長井 秀友
			以上



12号館から大山方面の眺望

## 【お知らせ】

！！ 東海大学ネットに参加しませんか ！！  
東海大学同窓会のホームページ

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/index.html>  
→「同窓生へのサービス」→「東海大学ネット」で内容を確認することができます。

東海大学同窓会が発行する生涯メールアドレス（メール転送機能）を手に入れ、有効活用いたしましょう。

数学科同窓会のお知らせ、連絡等にメールを利用していきたいと思っておりますので、多くの方々に登録をお願いいたします。

「卒業後、1年以上経過した同窓会員の皆様へ」\*注1

ご利用にはログイン名（あなたの ID）およびパスワードが必要です。入手していないか、不明な場合は、東海大学ネット問合せ先まで連絡をお願いいたします。その際には卒年、学部、学科、専攻、課程、氏名、現住所、学生番号（省略可）をお知らせください。

**E-Mail : [tokai-net@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:tokai-net@tsc.u-tokai.ac.jp)**

ログイン名・パスワードを発行し、ご自宅宛に郵送する手配をいたします。

数学科同窓会の Web サイトは下のアドレスです。ご利用ください。お知らせや会報のバックナンバーについても順次掲載する予定です。

<http://www.sm.u-tokai.ac.jp/>

\*注1：東海大学ネットHPより引用しました。

## 【数学科同窓会役員】

会長	山田 正和	(69年度卒)
副会長	松尾 久美子	(70年度卒)
〃	中村 昭宏	(76年度卒)
事務局長	原田 三行	(70年度卒)
幹事	千葉 彰悟	(69年度卒)
〃	沢野 重春	(70年度卒)
〃	坂井 和也	(80年度卒)
〃	岡安 英文	(80年度卒)
〃	山本 義郎	(91年度卒)
代議員	各年代2名	
会計	泉水 博	(00年度卒)
監査	手塚 政夫	(70年度卒)

## 【編集後記】

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まりスポーツイベントも盛り上がってくると思います。皆さんとともに、東海スポーツの活躍も見守っていきましょう。

さて、社会情勢は引き続き厳しく、消費税が2014年4月から8%になります。この消費税は社会保障費、年金などに使用されることになっていますので、小生など団塊の世代で、いよいよ年金生活に入ろうかと云う者として複雑な気持ちです。将来に向けて社会保障の安定化は、しっかりと確立してもらいたいものです。

曰く、「自分らしく生きる」を目指して周りには迷惑をかけずに過ごしたいものです。

数学科同窓会の発足にご尽力をいただいた川尻先生が5月にご逝去されたことは残念でなりません。同窓会を設立するときに「作るのは簡単だが、継続は大変だぞ！」の言葉を思い起こし次につなげていきたいと思っております。

(み)



噴水下から五号館前ロータリー方向のケヤキ並木



2012年11月3日の同窓会にて



【発行】

発行日 2013年11月3日

編集 東海大学理学部数学科同窓会会報編集委員会

発行人 山田 正和

発行所 東海大学理学部数学科同窓会

〒259-1292

神奈川県平塚市北金目4-1-1